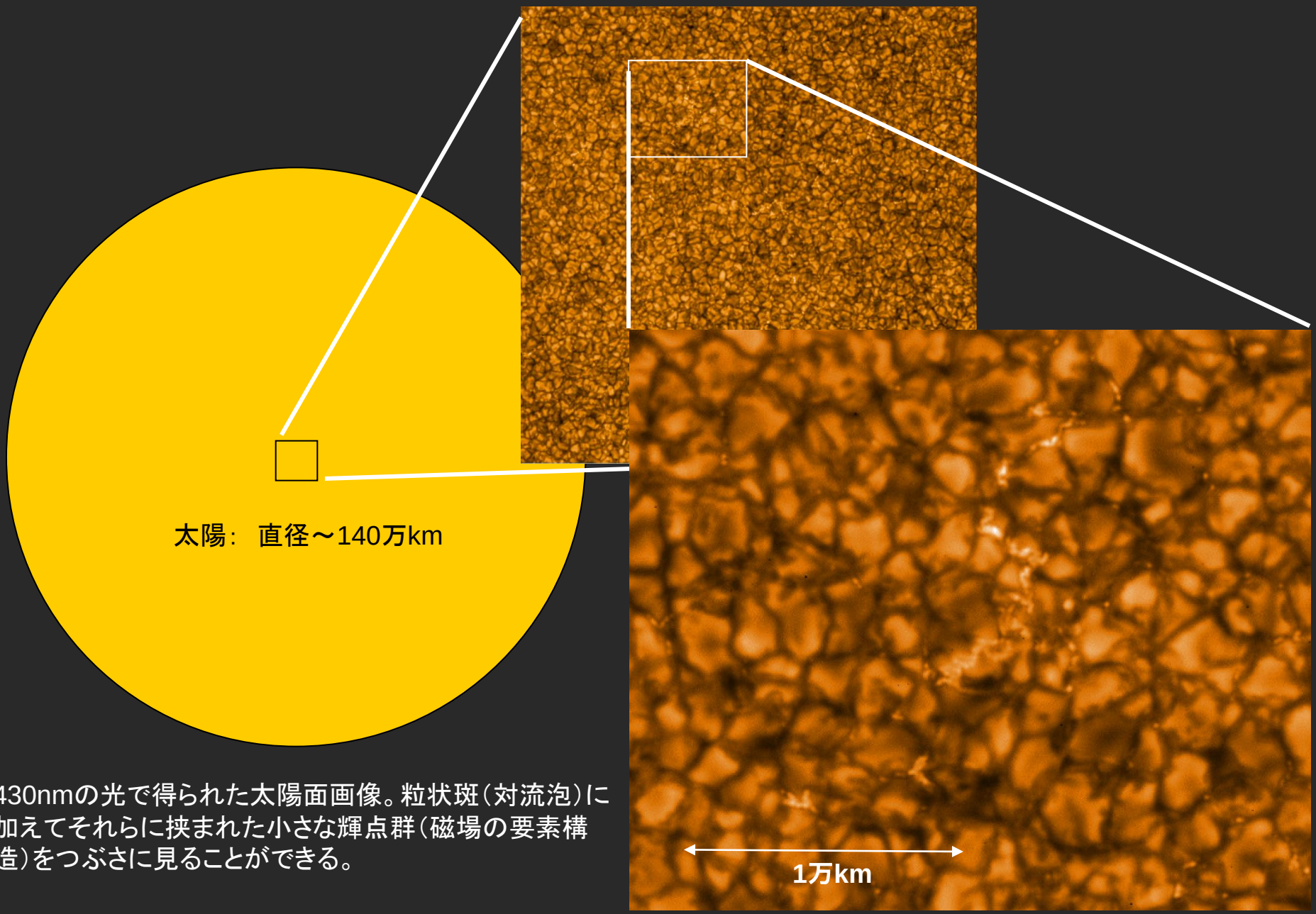
ひので可視光望遠鏡のファーストライト



430nmの光で得られた太陽面画像。粒状斑（対流泡）に加えてそれらに挟まれた小さな輝点群（磁場の要素構造）をつぶさに見ることができる。